

インテック・ネットコア ～イノベーション創出のために～

2006.11.22
インテック・ネットコア
荒野 高志



インテック・ネットコアは

この歴史的な変革期の中において

IPネットワーク技術をベースにしたイノベーションを

他者／他社と連携して創出することを目標とした会社です

設立経緯

会社名:株式会社インテック・ネットコア

設立日:平成14年5月29日

資本金:5,000万円

会社の理念

コア技術の研究開発とコア人材の育成を通して
次世代インターネットに貢献する

会社のビジョン

最先端IPネットワーク技術を核としたイノベーションを創出する

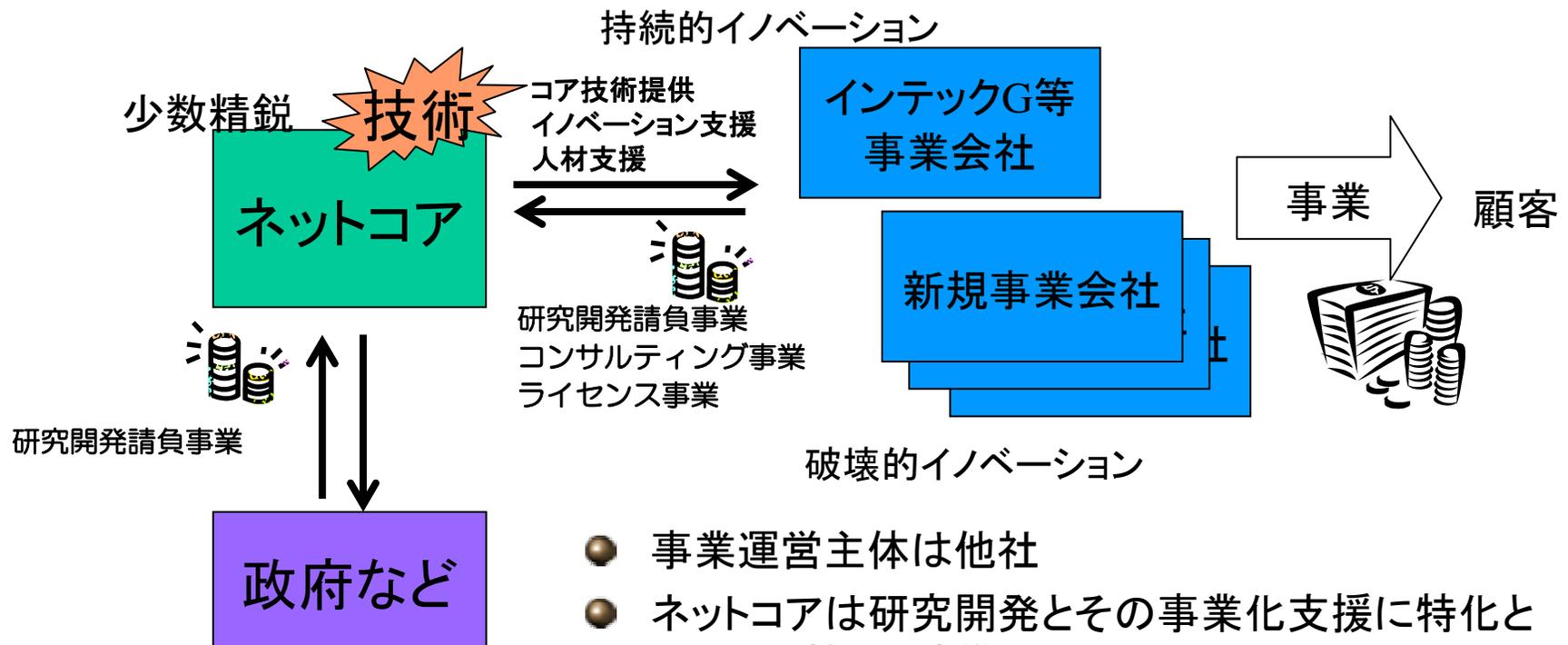
- ・顧客価値／社会価値の最大化
 - ・技術の本質の追求
 - ・人が育つ環境
 - ・グローバルな視点
 - ・変革の時代にふさわしい企業運営のあり方の模索と実践
-

事業内容

- ・次世代コア技術の調査・研究・開発 (IPv6, MPLS等)
 - ・コンサルタント業務
 - ・インターネットに関わる業界活動
 - ・コア人材のインキュベーション
-

ビジネス基本モデル

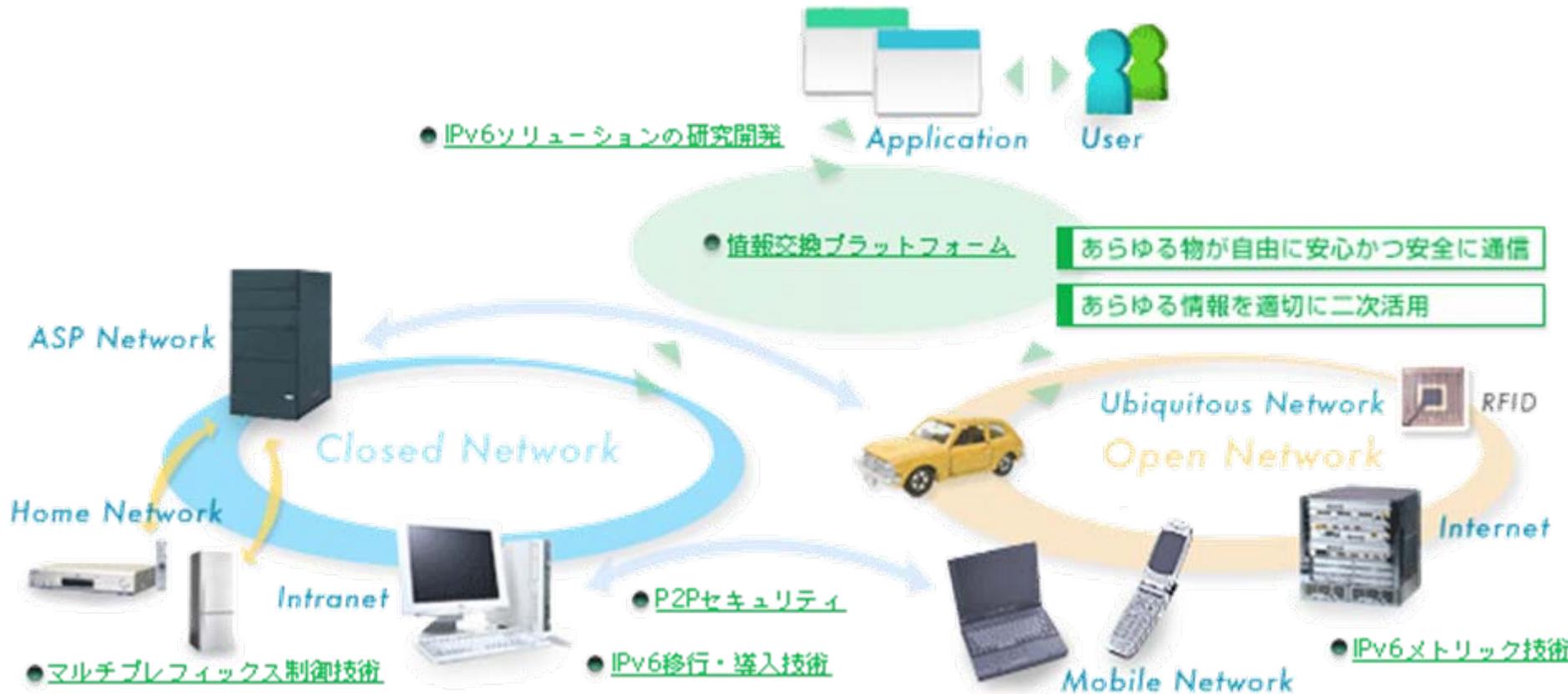
新しい技術を研究開発し、事業会社に技術をライセンスすることにより、さらに次の研究を進めていく



- 事業運営主体は他社
- ネットコアは研究開発とその事業化支援に特化という形で協調・連携
- 資金面でのリスクを最小にして、さまざまなタイプのイノベーションへのチャレンジを積み重ねられる

IPv6 = 情報流通プラットフォーム

- さまざまな「もの」をシームレスにつなげることにより、「もの」からの情報を活用できる「IPv6情報流通プラットフォーム」は、さまざまな産業分野でのイノベーションを誘発するイノベーションイネーブラーとなる。



IPv6ビジネス戦略

- 長期的な視野に基づいたモデル
- ビジネス戦略を3フェーズに分類
 - ・啓蒙期:ビジネスシーズの発見、環境整備
 - ・ビジネス勃興期:新市場の創出を目指す
 - ・ビジネス発展期:顧客・パートナー企業とともにビジネス成功

高度な技術力によるイノベーションの創出

新たなビジネスの切り口

啓蒙期 ~2006

- 今までは普及啓蒙に尽力し、ブランド形成
 - アドレスポリシー標準化 (JPNIC/APNIC)
 - IPv6サミット企画・運営 (インターネット協会)
 - IPv6移行ガイドライン (IPv6協議会)
 - IPv6ソリューションガイドライン (総務省)
 - 国際、特にアジアでの情報共有・連携 (APv6TF, IPv6 Forumなど)
 - SFC村井教授やWIDEと連携

- これからは今まで蓄えてきた技術や知見を生かしてビジネス化へ

- 基盤技術

- マルチプレフィックス制御技術(MPR)

- SFC國領研究室のインフラコストシェアモデルとの連携

- 多段セキュリティモデル技術(MLS)

- IPv6普及度計測メトリック

- SI技術

- 移行導入方法論、IPv6モチベーションモデル

- ソリューション

ビジネス勃興期 2007~

